

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成30年度河内長野市学校運営協議会連絡会議
2 開催日時	平成31年1月31日(木) 午後4時00分から
3 開催場所	市役所 8階 801会議室
4 会議の概要	<ol style="list-style-type: none">1. 開 会2. 理事挨拶3. 委嘱状交付4. 会長・副会長互選5. 各学校運営協議会委員からの意見収集6. 閉 会
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 子ども未来部 教育指導課 (内線 757)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

今後の学校運営協議会のあり方について ～これまでの成果と課題～

【各学校運営協議会から成果について】

- ▶ 7年間継続して取り組んだことで、地域と学校との距離が縮まった。
- ▶ 取り組み始めたころは、学校運営協議会というものが地域に理解されていなかったため、ボランティアを募ってもなかなか集まらなかったが、今ではボランティアが集まりやすくなった。
- ▶ 学校運営協議会員が学校に入ることによって、小学校の職員との距離が縮まり現場の生の声が聴けるようになった。
- ▶ 小学校の職員との信頼関係ができた。
- ▶ 学校の運営にかかわることをということで、授業をサポートするような取り組みが着実に増えてきた。
(なわとびGo、九九の聞き取りボランティア、凧揚げ、コスモス山など)

【各学校運営協議会の課題について】

- ▶ 一過性のイベントのようなものを、するのではなく、校長が思い描く学校運営をサポートしていくことが学校運営協議会委員の使命。
- ▶ 学校の職員は、毎日非常に忙しくしている。教員の働き方改革につなげるためにも、学校に負担をかけない、教員の仕事を増やさないようにしていくことが大切である。

【まとめ (会長から)】

成果の部分は、地域と学校が近くなった。地域との距離が近くなった分、活動がバージョンアップして、より子どもの笑顔のためというところになっている。

学校運営協議会というのは、「幹」である。まちづくり協議会、青少年健全育成協議会、青少年指導員連絡協議会など地域でそれぞれ取り組んでいることが、学校運営協議会という「幹」に集まるよう集約し整理していく。そのような形で、地域と学校が連携して社会に開かれた教育をめざしていくことが、これからの学校運営協議会のめざす方向性であろう。